

第7回 神保原駅北まちづくり協議会 会議録

概要

開催日時	令和5年11月1日(水) 10時00分～11時30分
開催場所	上里町役場 大会議室
公開又は非公開の別	公開
出席委員 (敬称略)	為国 孝敏 並木 孝之 上野 文一 木村 芳雄 佐々木 輝伸 大田 幸子 坂下 正道 岡本 史靖 毛須 知之 上山 弘志 黒澤 望 茂木 一美 上村 登
代理出席 (敬称略)	長沼 克(八木 雅之) 三浦 寿文(高橋 和十四)
欠席委員 (敬称略)	高橋 祐子 島田 未夢
出席状況	委員総数：17名 出席：15名(うち代理2名を含む) 欠席：2名
町出席者	山下町長 島田副町長
事務局	上里町まちづくり推進課 吉田課長 飯島参事 伊藤係長 松本主査 清野主事 津根技師補
傍聴者	2名

会議の内容

<p>1.開会 島田副町長から開会のあいさつ</p> <p>2.町長あいさつ 山下町長からあいさつ</p> <p>3.神保原駅北まちづくり協議会設置要綱(以下「協議会設置要綱」)について【資料1】 事務局から説明</p> <p>◎質疑なし</p> <p>4.委嘱状の交付 山下町長から委員を代表して「為国委員」に委嘱状を交付した。</p> <p>5.委員紹介 事務局から委員紹介</p> <p>6.会長選出 協議会設置要綱第4条第1項の規定に基づき、委員の互選にて会長選出を行った。 協議会委員から「事務局一任」とのご意見があったため、事務局から「為国委員」を会長に選任し、承諾をいただいた。</p> <p>副会長任命 協議会設置要綱第4条第3項の規定に基づき、為国会長から「並木委員」を副会長に任命した。</p>
--

7.写真撮影

神保原駅北まちづくり協議会設立の写真撮影

8 委員の出席状況

協議会設置要綱第 6 条第 3 項の規定に基づき、事務局から委員の過半数の出席が確認されたため、本会議は成立することを報告した。

9.会議録署名委員の指名

協議会設置要綱第 8 条第 2 項の規定に基づき、為国会長から「上野委員」、「上山委員」の 2 名を会議録署名委員に指名した。

10.傍聴者等の入室

神保原駅北まちづくり協議会の会議の公開に関する要綱第 2 条の規定に基づき、本会議は「公開」にて行い、傍聴者 2 名の入室を許可した。

11.報告事項

(1) 神保原駅北まちづくりの経緯と状況について【資料 2】

事務局から説明

◎質疑なし

(2) 神保原駅機能の改善について【資料 3】

事務局から説明

◎質疑応答

上山委員

駅改築の 3 案を見させていただいて、南側改札案が管理上複雑になるので、ここには無かったとのことなんですけど、南側改札案ではない橋上駅案となると、今の構造と変わらないと感じました。今の駅の構造と変わらないのであれば、今の自由通路にエレベーターが無いはずなので、南北にエレベーターを増設して、北側駅舎を改築すれば、お金もあまりかからないと思います。自由通路は建設後から期間が経過しているため、それなりの補強が必要だと思います。南側改札案が無いとなると、駅の改築をする方向性が全然違うと思います。図面についても全部を読み取れないので説明をお願いします。また、JR との費用面等についての調整状況はどのような感じなのでしょう。上里町が希望する案を JR が全て受け入れてくれるのか。JR としてはそこまではできないとなるのか。

事務局

南側改札の件について、A 案の図面ですが、駅舎は地平駅となっておりますので、駅北側から電車に乗る方は、上り方面に向かう場合は北側からスムーズに改札を通る形となっております。下り方面に向かう場合は跨線橋を渡っているものとなります。南側から電車に乗る方は、南側ロータリーから自由通路を渡って、駅の改札を通り、下りの電車の時は跨線橋を渡っています。A 案につきましても、今回橋上化になると図面のピンク色の部分に新しい駅舎を建築する計画案になります。これにより改札が 1 階にあったものが、2 階に移ります。南側から電車に乗る方は、自由通路から改札を通り、跨線橋に入ります。これまでは一回階段を上り下りする必要がありましたが、2 階のまま改札を通る形になります。北側から電車に乗る方につきましては、今までは改札に 1 階のまま通りましたが、橋上化されますと、自由通路を上って駅舎 2 階の改札を通り、既存の跨線橋を使うという形になります。南側から電車に乗る方につきましては、下り電車に乗る際に一回自由通路を渡り、もう一回跨線橋を渡っていたのが、橋上化されますと、一回階段の上り下りが無くなります。屋根整備、エレベーター整備も今回検討しておりますので、2 階のままスムーズに駅構内に入れるものがございます。JR の関係について、JR と協議を進めていまして、跨線橋は JR の施設になります。今後、跨線橋が構造的に老朽化していたり、活用可能かどうかの技術的な検討をしていく必要があります。また、自由通路は昭和 61 年に建設されているので、建設から 30 年以上経っております。こちらの老朽化の修繕であったり、自由通路の活用が可能か、屋根がつくのか、そういったところの検討が A 案については必要となります。既存の跨線橋と駅舎については耐震補強等がされているので JR とすると改築の必要が無いとされています。A 案についても検討の上、町との協議には乗っていただけるという状態になっています。B 案は、既存の自由通路は取り壊し、こちらを新しい自由通路を建設します。自由通路は町の管理になっていますので、自由通路は新しく作ります。自由通路は新しく建設し、JR が管理している跨線橋は既存を活かして、あとは A 案と同じように、線路の北側に 2 階建の駅舎を建てて、自由通路から跨線橋に入って行くという計画が B 案です。最後、C 案について、ホームの上に新しい駅舎を建てま

	<p>す。自由通路及び跨線橋についても既存のものを壊し、新しく駅ができますので、駅からそのまま降りていく階段を作るという全て新しく作り直す案になっています。A～C案どの案も今後詳細な検討は必要ですけれども、現状 JR とはこの3案で今後も検討していきたいと、JR としても技術的に検討して大丈夫であれば、協議をさせていただけるということになっています。</p>
上山委員	<p>図面の黄色く着色されている箇所は、無くなりますよということでのいいのでしょうか。</p>
事務局	<p>こちらの部分は既存の駅舎になっていますが、この配置ですと新しく自由通路の階段を付けますので、こちらの駅舎は撤去ということになります。一方で、もし今の駅舎を利用するという形になれば、階段を付け替えるなどして、既存駅舎を活用するというのも今度検討はできるという風に考えています。現状では黄色は撤去するものということでご認識いただければと思います。</p>
上野委員	<p>3案について、JR と町の負担金は何パーセント、何対何なのかを教えてください。</p>
事務局	<p>JR との負担割合について、JR 管理である既設の跨線橋と駅舎については、耐震ができており、改築の必要がないという JR の状況がございます。そのため、現状は町が全額負担で整備するというような形になり、JR の負担は無いという形になります。ただ今後も協議していきたいと考えています。</p>
為国会長	<p>国や県の補助金はどうなのか。</p>
事務局	<p>国の補助金を充てられる可能性がございます。最大で50%が充てられるような補助金制度もございます。その辺も踏まえて活用していきたいと考えています。</p>
為国会長	<p>県はどうなのか。</p>
事務局	<p>県は補助項目が重なっているところもございますので、色々なパターンを検討していきます。</p>
並木副会長	<p>駅舎の話なんですけども、この協議会に何を期待しているのかを確認したいです。</p>
事務局	<p>3案を以って、JR と本協議に入ってもよろしいかというところをお尋ねしたいと思っております。JR とも下協議はしているんですけども、実際に町としてどれでいくのかを求められているところがありますので、その辺をお諮りしたいと思っています。</p>
並木副会長	<p>お金のかかる話でもありますし、協議会に3案を諮ることなんですけど、もう一つは議会も関係してくるので、3案で見据えていくということでもよろしいですかね。</p>
事務局	<p>まちづくりと一緒にやっているような取り組みが望ましいというご見解を JR からもいただいておりますので、そういう意味で今回のまちづくりの中で協議会にもご議論いただきながら、意見を取り入れながら、JR に持っていくという流れで進めたいと考えています。</p>
	<p><12.その他> (1) ちいさな駅前を旅するマーケットについて 事務局から説明</p>
為国会長	<p>今回から参加されている佐々木さんと大田さんへ、こういう賑わい作りについて、感想でも結構ですので意見をお願いします。</p>
佐々木委員	<p>マイクロツーリズムを町の中で目指していく観点で、こういったマルシェみたいな取組を町中で行うことは非常に活性化に繋がっていくと思います。現在所沢市でも同じことをやっていて、所沢市は反対側が開発が決まっています、そこにはたくさんの方が集まって、だいたいそこで商業施設も全て完結してしまうような感じになるんです。そうすると町中を回遊する人がいなくなってしまうところから、ある程度スポットを設けて、古い建物であったり、古民家であったり、公園であったり、こういったところを繋いでいこうということですね。やはりマルシェを点在させて、そこでみなさんがいろんな体験、経験等ができる、同時に参加している方々も古民家等もしくは空き家等そういったところを活用して、子供たちのワークショップの場作りをしています。今回11月に開催するんですけど、2回目になるんですよ。それを来年度、開発が終わった後に実践してみるという形で考えていますので、たくさんの方の沿線上の人も呼び込めるような子</p>

	<p>育て世代にも経験できるような、そういった場所作りを点在させるっていうのは町を回遊するという中ですごく良いと思うんですよね。駅前から国道 17 号までは何キロくらいですかね。</p>
事務局	<p>500 メートルくらいです。</p>
佐々木委員	<p>そうであれば、本当に小さなスポットで面白い町ができるんじゃないかなと感じがしております。道を今後どうやって作り上げられるのか、見せられるのかというところで、各所にスポットを設けていけるというのが定常化してくるのが一番良いのかなって感じています。</p>
大田委員	<p>このイベント、私の知り合いもたくさん出ていますし、主催しているのも友達なので、よく知っているんですけど、私も寄居町に引っ越して 1 年目の時に、同じようなイベントをやりたいなということで、商工会と協力しながら計画したんですけど、1 日のうちにボツになってしまうという苦い経験をしたんですよね。簡単にやっているようで難しいんですよこれって。なので、本当にすごいなと思って、いつも感心しながら見ていました。まずは続けていくことが大事なのかなって、そこが一番難しいなと思っているので、やはり主催の方、事務局の方、主催者の方々が楽しく続けていけることが一番大切なことかなって思っています。それって少しずつ地域の方に愛着を持っていけて、やっぱりこのマーケットもこれだけどんどん出店者さんが増えているのも人の繋がりだったりすると思うんですよね。地域に愛着を持ってもらって、ここでまた新たに新店してくれるキーマンとかが生まれてくれること、そういう風なまちづくりにできたらいいのかなって思っています。</p>
為国会長	<p>公募で参加されている方、黒澤さんから一言ずつ感想をお願いしますか。</p>
黒澤委員	<p>この「ちいさな駅前を旅するマーケット」を楽しみにしていて、前回 2 回目の時も参加させていただいて、事務局の方が道の幅を測っているところも見させていただきました。今回第 3 回に当たって、先ほど「ちいさな駅前を旅するマーケット」全体の狙いはお伺いしたんですけども、第 3 回の狙いや目的があるのでしたら、ぜひ聞きたいと思います。</p>
事務局	<p>第 1 回目の時は同じく、空き地を使って、駅前通りを中心にやりました。その時は、地元の方のまちづくりの気運を上げるという感じで、とにかく何か盛り上げる企画ということで、立ち上げました。思いのほか想像を超える来場者と好評をいただきました。第 2 回目は、道路を今後拡げる中で、道路自体を賑わい空間に活用できないかというところを狙い考えました。イメージするのは、歩道の中にキッチンカー、賑わい、ゆとりを感じるような例えば東屋、ベンチのようなパークレット、神戸市とか先進して歩道が元々あるところについて利活用しているという取組、いわゆるホコミチ。新たに道路を作るんだったら賑わい空間を歩道に作ってしまうという狙いで、どれだけ賑わい空間として歩道が必要なのか社会実験を行いました。第 3 回目は、今後道路を拡幅する中で段階的に進めるにあたり、整備を前提としたアンケートをとるという狙いでやります</p>
事務局	<p>補足として、アンケートの話が出ましたので、アンケートをやる中で今回会場を回していることによって、これまで駅北を歩いていなかった人が初めてこの道を通ったという時に、ここの舗装をこうの方がいいよねとかこういう良いところがあったよというのがアンケートでもいただけております。また、出店者の方のアンケートについても、今後町の方で出店も考えていきたいという回答もあつたりしますので、だんだんそういったものに、継続 3 回目になっていますので、そういう風に繋がってきているというのが、当初はなんとか盛り上げようというところからスタートしましたが、だんだんまちづくりの方向性に結びつくような意見も出ておりますので、今後の整備に色々取り入れていきたいと事務局で感じているところです。</p>
茂木委員	<p>私、初めてこういう会議に出たんですけども、非常に素晴らしい提案がされているので、なぜ早く実現できていないのかというのが感想です。恥ずかしながら「ちいさな駅前を旅するマーケット」の 1 回目、2 回目がどこで何をやっているのか情報が全く得られていませんでした。私がいま注目してなくて、反省もごさいます。ただ我々駅前の住人じゃなく、駅から離れた住人がこういうようなものを興味を持って見る仕組みとして、やはり情報提供をどのようにされているのか。広報で 1 回で終わったとかではなく、広く PR する方法がないかと。我々が PR マンになってやるのが自覚としてあるなって。一方で、これが 1 回、2 回やってマスコミがどのような対応をしているのか。テレビだとか新聞とか SNS とか私自身がわからなかったの、ただこういう風な見方をしているとやはり取組から実施して、フォローしてそれをどのように次に活かしていくかっていうものがあって、今後一連の流れの中で私としては取り組んでいく必要があると思っています。</p>

事務局	<p>マーケットに限らず、まちづくりの取組について情報提供を色々やっていかなくてはと思っております。マーケットにつきましては、広報かみさとの10月号、11月号で紹介をさせていただきます。他にInstagram、SNSを活用してやっております。まだまだとのご意見いただきましたので、皆様がもっと目に触れるようなところで周知できればと思っていますので、今後検討したいと思います。</p>
茂木委員	<p>知らない人が知り得るってこういうチャンスをいかに作るか、こういう会議に出てきた人と体験を色々語っていくことが必要だと思うんですね。興味がないのは、はっきり言って全然振り向きもしないってのが人の常であって、やっぱりそういう人達に何か切り口を持って提供していったらいいんじゃないかと思います。これから少しずつ考えていきたいと思いますが、よろしくをお願いします。</p>
上村委員	<p>生まれも育ちも神保原で、ここにあるトロッコ線跡地を全く知らなかったんですけど、これがどのような歴史があるのかを知りたいです。</p>
事務局	<p>昔トロッコが走っていたんですけど、こちらのマップで見る旧トライアルと書いてあるところが元々製糸工場でございまして、こちらに引き入れる石炭とか乾燥させたりする、繭だったりもなんですけど、そういったことでトロッコを活用していたようでございます。現在も線路が引いてあるわけではないですが、幅が1mほどの脇道といったところです。ただこれも地域資源としてアピールしたいと思っています。第1回目の時にはこのトロッコ線跡地に歴史がわかるようなパネルを展示しました。</p>
上村委員	<p>細い道、お墓の横の狭い道路ですかね。</p>
事務局	<p>そうです。</p>
上村委員	<p>子供さんにチョークで線路を書いてもらうイベントもいいのかなって思いました。</p>
為国会長	<p>それでは、以上で本日の議題を終了させていただきたいと思います。議長の仕事をお願いいたします。ご協力ありがとうございました。</p>
	<p>13.閉会 並木副会長から閉会のあいさつ</p>

以上